

岩湧の森のシャクナゲ開花

ゴールデンウイークが見ごろ

河内長野市
平成26年4月23日

河内長野市加賀田の「岩湧の森」では、名物のシャクナゲが花を咲かせ始めた。休憩所「四季彩館」（同市加賀田 3822-1）の職員によると、ゴールデンウイーク初めころから見ごろを迎えるという。

岩湧の森では岩湧寺周辺を中心にたくさんのシャクナゲが植えられている。「四季彩館」の前にあるシャクナゲも可憐なピンク色の花を咲かせており、休憩所に同館に立ち寄ったハイカーらの目を楽しませている。植えられているのはホンシャクナゲとホソバシャクナゲの2種類。

「岩湧の森」は同市南部の岩湧山中腹にあり、面積は約80ヘクタール。園内には「いわわきの道」「みはらしの道」など6つの散策道がある。この時期は鳥の繁殖期で、オオルリ、ミソサザイ、ツツドリなどのさえずりがよく聞こえ、バードウォッチングや森林浴も楽しめる。「四季彩館」では、専門の自然解説員がハイキングコースの案内や動植物の解説を行っている。

なお、四季彩館では5月3日（祝）～6日（休）には期間限定の「森のカフェ」がオープンする。

「四季彩館」は月曜日休館（祝休日の場合は翌日）。開館時間は午前10時～午後4時30分。入場無料。岩湧の森へは南海・近鉄河内長野駅または南海高野線三日市町駅で下車し、南海バス神納行き「神納」バス停下車徒歩約80分、または南青葉台行き「南青葉台口」下車約90分。無料駐車場（約70台）もある。

問い合わせ 岩湧の森「四季彩館」（電話 0721-63-5986）

※都市魅力戦略課では、4月25日（金）午前中に写真撮影をする予定です。同日に取材を希望される場合は、午前10時に岩湧の森四季彩館へお越しいただきますようお願いいたします。なお、場所など不明な点がございましたら都市魅力戦略課または同館へお問い合わせください。